

研究に関するお知らせ
救急病棟における身体抑制をしない看護の実践を目指すため
～身体抑制率と自己抜去率との相関関係の検討～

横浜医療センター救急病棟では、下記の研究を行います。この研究は条件を満たす患者さん全員を対象といたします。もし、この研究への参加を希望されない場合には、対象とはいたしませんので、お問い合わせ先にお申し出ください。お申し出になられても、診療を受ける上で不利益を被ることはありませんのでご安心ください。

■研究の対象となる方

2018年3月1日から2019年3月31日までに当院救急病棟で身体抑制を行っていた患者さん。また同期間で末梢静脈ライン、動脈ライン、胃管、膀胱留置カテーテル等を自己抜去した患者さん。

■ご協力いただく内容

上記の対象期間中に診療録記録された診療情報を、研究に使用させていただきます。使用に際しては、政府が定めた倫理指針に則り、個人情報 は 厳重に保護した状態で行います。

■研究の概要

研究の目的及び意義

救急病棟における身体抑制件数と自己抜去件数の関連性を検証するための研究です。また、身体抑制軽減への取り組みをおこない、その前後での抑制・自己抜去件数の変化を検証し、取り組みの効果を明確にし、今後の看護に活かす事を目的としています。

研究の期間

承認日から2020年3月31日

研究の方法

対象期間中に救急病棟に入院した患者総数と、身体抑制を行った患者数、自己抜去件数を電子カルテから情報収集し「身体抑制率」と「自己抜去率」を算出する。また抑制軽減への取り組みを行った前後でも「身体抑制率」と「自己抜去率」を算出し、両者の関連性や効果的な取り組みが出来たのかを検証する。

個人情報の取扱い

電子カルテシステムから抽出されたデータに、電子カルテを直接閲覧して得られた追加データを入力したのち、匿名化して分析を行います。

利益相反に関する状況

開示すべき利益相反は特にありません。

研究に関する情報公開の方法

看護に関する学会等にて発表し、最終的に論文とする。その際、データは個人が特定されない方法、内容に限るものとします。

■研究対象者等及びその関係者からの相談等への対応

本研究は既存の診療録情報を利用した後方視的疫学研究であり、対象者への文書や口頭によるインフォームドコンセント取得は困難であるため、本研究の概要を当院ホームページ上で公開し、相談に対しては個別に対応いたします。お問い合わせ先までご相談ください。

■研究代表者及び研究分担者

研究代表者	横浜医療センター	救急病棟	副看護師長	若森 大
研究分担者	横浜医療センター	救急病棟	看護師	小林 孝昌
研究分担者	横浜医療センター	救急病棟	看護師	二階堂 晴美

■お問い合わせ先

横浜医療センター 救急病棟 若森、二階堂
〒245-8585 横浜市戸塚区原宿 3-60-2
TEL045 (851) 2621 (代表) FAX045 (851) 3902
平日 8時 00分～17時 00分